



ヒガンバナはどうして種たねができないの

日本にほんのヒガンバナは、種たねを作るはたらきを失うなっている

秋あきのお彼岸ひがのころ、まっ赤かな花はなを咲さかす彼岸花ひがは、実みも種たねもできません。日本にほんにあるヒガンバナは、昔むかし、中国ちゅうごくからわたってききましたが、種たねを作るはたらきを失うなっている変かわりものが入はいってきました。

3倍体ばいたいは子孫しそんが残のこせない

中国ちゅうごくからは3倍体ばいたいのヒガンバナが入はいってきました。3倍体ばいたいの植物しょくぶつは種たねを作るはたらきを失うなっているのです。

3倍体ばいたいとは、遺伝いでんに関係かんけいしている染色体せんしよくたいが、3組くみある特別とくべつな変かわりものです。動物どうぶつでも植物しょくぶつでも染色体せんしよくたいは、2組くみあるのがふつうです。1組くみはオス親おやから、もう1組くみはメス親おやから受けついでいます。2倍体ばいたいのものは、オス親おやとメス親おやから均等きんとうに遺伝いでんし子しをもらっています。

3倍体ばいたいというのは、何かなにの原因げんいんで、オス親おやかメス親おやのどちらかくみの組くみが多いいでんしのです。遺伝いでんし子のバしそんランスのこがくずれて、子孫しそんを残のこす力ちからが失うなわれます。

4倍体ばいたい、8倍体ばいたいになっ動物どうぶつや植物しょくぶつもあります。単純たんじゆんに倍ばいになっものは、ふつうとあまり変かわらおおないものが多いおおのです。

原産地げんさんちの中国ちゅうごくでは、種たねができる2倍体ばいたいのヒガンバナがあります。

種たねなしスイカも3倍体ばいたい

種たねなしスイカも、同おなじようにに3倍体ばいたいで種たねができません。スイカでは、人工じんこうてき的に3倍体ばいたいを作つくり出だしています。(監修・中山 周平)

